

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2020年(令和2年)3月1日 《年6回・奇数月発行》

会報 第111号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

(AAC21) ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213
E-mail:info@aac21.net

【カンボジア事務所】Phon Preytea, Sangkat Chaom Chao, Khan Por Senchy
Khan Por Senchy, (Borey Newtown) Phnom Penh
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707

【ホームページ】 [カンボジア支援](#)

【公式ブログ】 [メコンの風に吹かれて](#)

カンボジア王国友好勲章をいただきました

本会が創立20年を迎えるに当たり、この程カンボジア国王の勅令により、カンボジア政府のヘン・サムリン国会議長直々に「カンボジア王国友好勲章」を頂いた。

同勲章は「サハメトレイ勲章」とも呼ばれ、1948年に創設された。5段階ある中の、最上級クラスの勲章。日本人受賞者は数人しかいない。

この友好勲章は、友好の印として、カンボジア国民のために傑出した貢献を果たした外国人に贈られるもの。本会が20周年を迎えるに当たり、2年ほど前からカンボジア政府に申請していたが、検討の結果、年末に頂戴することができた。

ヘン・サムリン国会議長は、1979年にポルポト政権を崩壊させ「ヘン・サムリン政権」を樹立した歴史上の人物。日本人も中々会えないカンボジアのレジェンドだ。80歳の高齢だが、いままなお国会議長の要職にある。

この栄誉は、本会を支えてくださった会員他大勢の皆様と与えられたもの。4月11日に開催される「創立20周年記念祝賀会」の会場に飾り、出席者全員でお祝いしたい。

近年、成長著しいカンボジアだが、都市から離れたへき地では旧態依然として貧しい暮らしを余儀なくされた住民や子どもたちがまだ沢山いる。本会はそのサポートを当てて、これからも活動して参りたい。



ヘン・サムリン国会議長より勲章を頂きました



カンボジア友好勲章

クリスマスと年末を初めてカンボジアで迎えました

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸恒次

12月18日〜30日、カンボジアに滞在した。乾季のため雨は一滴も降らず、連日30度超えの猛暑が続いた。寒い日本には想像できない暑さだった。

通常年末年始は日本で過ごしているが、12月に小学校校舎の贈呈式があった関係で、クリスマスと年末を初めてカンボジアで体験した。

しかしやはり日本人、お正月は日本で迎えたいと大晦日の31日、日本に帰国した。年末年始の混雑を予想していたが、幸い隣りが空席だったので、ゆったり過ごすことができた。

カンボジアのお正月は4月、1月1日はインターナショナル正月で祝日になっているが、それらしき雰囲気はなかった。年末も日本みたいになせわしさがなく、淡々としていた。

クリスマスも同様。日本ではほとんどの国民が一日限りのキリスト教徒になるが、カンボジアはガチ仏教国、国民にクリスマスを祝う気持ちはない。本来そうあるべきと、異国に来て感じた。日本がおかしいのだ。

治安は11月に比べると安定傾向にあった。11月のように軍隊を見かけることは一度もなかった。経済活動も順調のようだった。このまま推移してくれることを望む。

ひったくり、置き引きの被害が多いのは相変わらずだ。特に現金持ちと思われている日本人は格好の標的。日本にいる時のように無防備だと、一瞬のスキにひたくりに遭う。件数が多いので、警察も取り合ってくれない。

日本人ではないが、私が滞在中に現地スタッフ

創立20周年記念祝賀会開催のご案内

本会は、2000年1月に創立して以来、1月に20周年を迎えるに至りました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。つきましては、創立20周年を記念し心ばかりの粗宴を催したいと存じます。ご多用の折誠に恐縮ではありますが、何卒ご臨席賜りますよう、謹んでご案内申し上げます。なお本会会員及び寄付協力者の皆様には、別途書面にてご案内申し上げます。

- 日時 2020年4月11日(土) 午後1時~3時
- 会場 京王プラザホテル 47階 あおぞらの間 (JR新宿駅西口 徒歩5分)
- 会費 1万円(郵便振込票にて事前に送金お願いいたします)
- 参加申込み締め切り日:3月10日(火)

【主な内容】記念式典、会食会、20年の歩みをスライド上映、カンボジア伝統舞踊(アプサラ)
※本会会員でなくても出席可能です。お申込みは下記へお願いいたします。
電話 03-3991-2854 FAX 03-3557-1213

カンボジアの子どもたちをサポートしてください

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

例えば75年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。



里親さん、ありがとう

【教育里親会費】子ども1人につき1年間3万円。

- ・内訳
子どもへ直接支援する額=12,600円(42%)
年会費(会の運営に回す額)=17,400円(58%)
- ・子どもへの直接支援額を高めるよう努力しております。
- ・一括納入、分割納入(毎月、年2回)のどちらも可。
- ・所定の郵便振替用紙を使いお振込みください。

【支援する期間】

- ・少なくとも子どもが学校を卒業するまでの間、支援して頂けたら幸いです。やむを得ず子どもが中退する場合もありますが、その際は別な子どもの支援をお願い申し上げます。

【子どもとの交流】

- ・子どもからは概ね6ヶ月に1度、近況を報告する手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。
- ・里親から手紙、プレゼントを届けることができます。(子どもから写真とお礼の手紙が届きます)
- ・年3回実施の「里子訪問の旅」に参加し、里子に会うこともできます。

鉄欠乏性貧血の予防に 役立ててください

11月～12月、カンボジア人に多いとされる鉄欠乏性貧血の予防に役立つ「鉄の魚」を各村の住民に配布、寄贈した。料理に「鉄の魚」を入れることで簡単に鉄分補給できる優れたもの、住民たちは早速家に持ち帰り、料理の鍋に入れて試していた。

同製品は「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」(新潟市秋葉区、石川幸夫代表)がカンボジアの村人に寄贈したもの。今後も行く先々で配布し、住民の健康改善に役立てる方針。



貧血予防に役立てます

生徒が多くて校舎が足りません



青空教室で勉強する子どもたち

生徒が多くなり、校舎建設を希望する小学校を12月21日に訪問した。

その小学校は「メーボン小学校」(プレイベーン県スワイオントー郡)。生徒数は304人(教師数=10人)、使える教室が3教室(その内の1教室は野外にある仮教室)のみで、授業は午前と午後に分けて行っている。

レンガ造りの校舎があるも、1986年に完成後30年以上経過、老朽化が目立っている。

校長のソク・サリット先生は、善意ある日本人に校舎寄贈を呼びかけている。

児童養護施設 夢ホーム日記

カンボジアのコンポンスプー県にある児童養護施設「夢ホーム」は、両親や片親を亡くしたり、親がいても不遇な家庭環境にある子どもたちの教育と生活の場として、会員の皆さまのご厚意により2009年3月に開園しました。

現在11歳～15歳の男子5人が暮らし、近隣の小・中学校に通学しています。

■根谷崎百合子さん(神奈川県、会員)とその友人米倉貴美子さん(神奈川県)が、子どもたちのため自転車2台と靴(5人分)を寄贈してくれた。

■入園児童の減少に伴い、5年間勤務した保父さんが1月末で退職、スタッフは保母さん1人のみとなった。



根谷崎さん、米倉さん、ありがとうございました

立派な校舎が完成しました！ 「味の素グループ労働組合」が 小学校に校舎贈呈



立派な校舎が完成しました



新校舎前で生徒たちと

「味の素グループ労働組合」(本部 東京都中央区京橋)の資金協力により、昨年8月に着工した小学校校舎がこの程完成。12月22日に贈呈式が行われた。同団体の皆さん(12人)も、日本からカンボジアに渡航し贈呈式に出席した。

完成したのは、チュロドンボン小学校(クラチエ県チュローン郡)の新校舎(4教室)。平屋建てのレンガ造りで、すぐ授業ができるようにと机椅子付き、黒板、先生用デスクなども備えられた。

新校舎を建てるに当たり、地元の学校教師ら大勢の方々がお金を出し合って建設用地を購入してくれた。特に同校で教鞭を取るホン・ポルさん(57)は、建設用地の半分以上を寄贈してくれた。

贈呈式には「味の素グループ労働組合」の皆さんに加え、「カンボジア味の素株式会社」社員の皆さんも出席、地元から同県の教育局長始め、地域住民、同小学校生徒の皆さんら約400人が出席した。本会からは根岸理事長が出席した。

贈呈式の中で、「味の素労働組合」の前田中央執行委員長が代表して挨拶、生徒達を激励した。

カンボジア王国政府から同団体に対し、感謝状とメダルが授与された。

同団体から小学校の生徒に学用品セットが、「カンボジア味の素株式会社」から同社製品がそれぞれ寄贈された。

贈呈式終了後同団体のメンバーは、縄跳びなど沢山の遊び道具を日本から持参し、生徒たちと楽しい交流のひとときを持った。

式が終わった翌日から早速授業が開始され、生徒たちの明るい笑い声が新教室に響いていた。

関連活動アラカルト



音楽指導する上山陽子さん

1月10日～11日、上山陽子さん(奈良県、会員)が「ソムブール小学校」(コンポンスプー県)で、ピアノによる音楽指導を行いました。併設する幼稚園では、遊戯指導を行いました。



1月16日～20日、佐々木テルさん(宮城県、会員)と娘さんご夫妻がカンボジアを訪問しました。佐々木さんが2014年に校舎を寄贈した「ソカーオン小学校」(コンポンスプー県)と「夢ホーム」(コンポンスプー県)を訪問、お菓子セットを差し上げ子どもたちと交流しました。



小学校を訪問した佐々木テルさん

教育支援をお願いします！

「クメール教育里親基金」では教育支援を希望するカンボジアの子どもたちを会報紙面で紹介いたします。支援して下さる方は、子どもの名前を添えて事務局までご一報ください。

また、既に里子をお持ちの方も歓迎いたします。顔の見えるマン・ツー・マンの教育支援です。

TEL 03-3991-2854
FAX 03-3557-1213



パート・ダナイ君 (男の子)
トベンクポス小学校 5年生 (11歳)

●家族構成 両親はいるが貧しい家庭、妹が2人いる。
●好きなこと サッカーをすること。



ロン・ソックニーちゃん (女の子)
トベンクポス小学校 3年生 (9歳)

●家族構成 両親はいるが貧しい家庭、弟が1人、妹が1人いる。
●好きなこと 本を読むこと



ソム・スレイヌーちゃん (女の子)
トベンクポス小学校 5年生 (11歳)

●家族構成 両親はいるが、父親は病氣療養、姉が1人、妹が2人いる。
●好きなこと 音楽を聴くこと。

里子へのプレゼントは随時受け付けています

- 次は5月に訪問を予定しています。準備の都合上4月25日までに現物を郵送、又は所定の振込票で送金をお願いいたします。
- 諸事情により、プレゼントを里子にお届けできないときは、次の訪問時のお届けになります。予めご承知ください。
- 手紙のみもお届けしますが、少しでもプレゼントがあると里子が喜ぶと思います。

■現地購入(プレゼント代を振込票にてご送金ください)

・自転車(中古品)	7,500円
・お米(50キロ入り)	4,500円
・Tシャツ2枚&サンダルセット	2,000円
・本(絵本2冊・中学生以上は英語辞書1冊)	1,000円
・お菓子セット(お菓子の詰め合わせ)	1,000円
・文房具セット(ノート、筆記用具等)	1,000円

※上記の代金は、現地での物品調達や里子へ届けるための車代等の諸経費として、原価に20%を上乗せしております。

※里親様が現地へ行き、里子にプレゼントを直接届ける場合は、原価での購入になります。

■日本から持参(事務局宛てにお送りください)

空港からの持ち出しに重量制限がありますので、レターパックやA4サイズの封筒に入るくらいまでのサイズでお預かりします。重量が重い場合、日本からの持ち出しができないこともあります。予めご承知ください。

里子への教育支援金を隔月に届けています

本会のカンボジア事務所では現地スタッフが、教育里子が通学する小学校(27校)を隔月に訪問、教育里親様より頂戴した年会費(1人の里子につき3万円)の中から、42%に当たる12600円を6回に分け、米ドルに換金して届けている。

中学校、高等学校に通う教育里子も出身校の小学校に集まり、支援金を受け取っている。

1月下旬、12月と1月分を届けた。



里親様からの教育支援金を届けました

在の生活ぶりを聞き帰国後、12月30日、三木浄万(きよかず)さんがカンボジアを訪問、里子の家を訪問し交流した。



里子にプレゼントを届けました

本会では、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親をなくしたり、親がいても貧しい家庭環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学ぶことができるよう、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在約380人の子どもたちを教育支援している。12月20日から26日にかけて、日本で預かった里子へのプレゼントを、根岸理事長と現地スタッフが里子の自宅へ届けた。また、新しく里子になった子どもたちを訪問、現

クメール教育里親基金活動レポート

ミニカレンダー送り続けて15年

遠藤啓さん(静岡県、会員)は、本会事務局が会員さんに手紙などを送る時に使うカードを、15年間にわたり寄贈し続けている。表面が毎月のカレンダーとカンボジアの子どもたちの写真付きで、それを受け取った会員さんにも好評。ほしい方は数枚ならお分けできるので、事務局へ一報を。



ミニカレンダー

菊池和雄さんが写真展開催

本会会員、菊池和雄さん(カンボジアの子供達に夢と希望を贈る市民の会代表)が、カンボジアの写真展を行った。茨城県日立市では、毎年「ひたち国際文化まつり」を開催しており、昨年11月17日(日)、「日立シビックセンター」で盛大に行われた。写真展では、カンボジア王国の文化、水上生活者村、小学校、及び少年サッカー大会などを展示した。

本会の会報を写真展会場に置き、来場者に配布して理解と協力を促した。



写真展を開きました

投稿 令日 東京都在住 会員 今 紀子

あれは、いつのことだったろう。どこの山へ行った時だったろう。

私たちは、避難小屋へ泊った。二階建の小さな小屋だった。

夕暮れになると宿泊者が増えて行く。最後に三人の若者がやってきた。

もうすでに立錐の余地もない。でも、ちょっとずつらせば窮屈だけど三人位寝られるかもしれない。と思った時、リーダー格の青年がニコニコしながら土間にシートを広げ、夕げの支度を始めた。トイレの臭いがするそこが、彼らの今宵のベッドなのだった。

翌朝、彼らは誰よりも早く出立していった。私は「行ってらっしゃい」と手を振った。

どんなに恵まれない環境にあっても、笑顔でいられるなんて、何て素敵なんだろう。

そう、あれは若葉がさわやかに匂い立つ、春の令しい(うるわしい)日だった。

投稿 カンボジアを訪れて(1) 北海道札幌手稲高等学校 家庭クラブ所属 渡邊咲也加

私たち家庭クラブでは、マドレーヌ販売などの活動によって得た収益をカンボジアに井戸を掘る資金として、寄付してきました。今回は、本校の寄付によって建設される12基目の井戸となります。

この井戸の贈呈式が開催されるのに伴い、「今まで支援してきた成果を現地に赴いて、自分たちの目でどうなっているのかを見てくることに大きな意義がある」ということで、私たちは「21世紀のカンボジアを支援する会」が主催する「第43回夢ホーム・里子訪問の旅」に参加することとなりました。現地を訪れるのはこの活動が始まって以来、初めてのことであります。この機会が得られたのは、先輩たちがこの活動を続けてくださったお陰です。ですから、先輩たちへの感謝と大きな期待と不安、責任をそれぞれの胸に抱き、私たちはカンボジアへ向かいました。カンボジアに着くと、カンボジアの人たちは私たちが温かく迎え入れてくれました。

現地に到着して二日目に、二校で学用品配布と井戸贈呈式を行いました。

まず、小学校に着くと子どもたちや先生たちが一列に並び、拍手で迎え入れてくれました。

また、私たちが横を通ると手を合わせて、笑顔でお辞儀もしてくれました。とても嬉しかったことを強く覚えています。カンボジアの子どもたちは好奇心が旺盛で、一校目の学用品配布のあと沢山の子どもたちが私たちと話をしたいと集まってきてくれて、普段の学校の様子や将来の夢などを教えてくれました。

井戸贈呈式では、私たちが建設した井戸から綺麗な水が使えることを、子どもたちはとても喜んでいました。

その時に見た子どもたちの笑顔は、言葉では言い表すことのできないキラキラした純粋な笑顔でした。その子どもたちの笑顔に魅了され、自分たちの活動の持つ意義や大きさを実感したと同時に、ますます活動意欲を増すものとなりました(後半は次号へ)



札幌手稲高校の皆さん



蓮の花

少なくなった蓮の花

カンボジアに来る楽しみの一つが、綺麗な蓮の花を観ること。しかし最近では乱獲が激しいとみえ、蓮の花を探るのが難しくなりました。また、咲いていたので、カメラに収めた。次は、いつ観られることやら。

カンボジア式衣料品販売とは 一具洗濯物干し場と見間違いが、これはカンボジアンスタイルの衣料品販売所。屋外なので、急に雨が降ってくると取り込むのにひと苦労。閉店後の片付けも大変そうだ。



衣類販売所



新国立競技場

「新国立競技場」は、プノンペン中心部から北へ車で30分の場所に建設中。プノンペン市内の中心地にある「国立競技場」通称「オリンピックスタジアム」は、郊外に移転する準備が進んでいる。現在建設中だが、完成までまだしばらくかかりそう。

国立競技場を建設中

プノンペン郊外にサファリ動物園がオープン。早速行ってみた。入園料20ドルは少し高いが、オランウータン、ワニ、鳥、ブタなどの動物ショーがあつて、結構楽しめる。問題は、一日中動物園にいないと、ショーを全部見ることができない。



サファリ動物園

ウオッチ カンボジア

クメール教育里親会員になりませんか

カンボジア王国認定団体：活動歴 20年
カンボジアの子どもたちを助けてください



里子の家を訪問して家族と交流します



里子と里親さんとの再会・言葉はいらない

学校にいけない	読み書き計算ができない	技術も学歴もない
子どもが働く	教育	収入の安定した仕事に就けない
働けない・病死	教育	収入が少ない仕事
病気になるやすい	十分な栄養が摂れない	食料が買えない

教育と貧困の連鎖が起きている



4・5年生になると働きに出てしまう

1年間3万円で子どもが学校に行くことができます
どなたか1人里親を紹介ください。下記に連絡を!

東京本部 〒176-0011 東京都練馬区豊玉上 2-25-7-203 ☎03-3991-2854

2020年度 里子訪問・学校訪問の旅 年間日程表

回	成田出発日	成田帰国日(延泊)	申込期限
第44回	3月5日(木)	3月11日~(13日)	2月5日
第45回	7月2日(木)	7月8日~(10日)	6月2日
第46回	11月5日(木)	11月11日~(13日)	10月5日

本会の会員状況をお知らせいたします (2020年1月末日現在)

●教育里親会員	254名
●個人会員	100名
●団体会員	8団体
●寄付協力者(単発)	57名
合計	419名

書き損じハガキ・未使用切手 ・商品券等をお送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手・ピールやデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。

- 3月〜5月の予定
- 会報「アンコールワット」3月1日付第111号発行
- 第44回「里子訪問・学校訪問の旅」(3月5日〜11日)
- 第18回定期総会(3月26日、練馬区立練馬文化センター・3階会議室)
- 創立20周年記念祝賀会(4月11日、京王プラザホテル・47階あおぞらの間)
- カンボジアフェスティバル(5月3日〜4日、代々木公園イベント広場)

事務局便り

■第44回「里子訪問・学校訪問の旅」(3月5日〜11日)の参加募集を締め切りました。百間は一見にしかず、是非一度カンボジアを訪れてください。今年はおと、7月と11月に催行します。

■3月26日に第18回定期総会、4月11日に創立20周年記念祝賀会と、大きな行事が続きます。皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

■4月11日の祝賀会で配布する「創立20周年記念誌」を作成中です。楽しみにお待ちください。

春さんのカンボジアレポート ~ケップでビル倒壊~

前に続いてビル倒壊の記事です。

カンボジアでまた建築中のビルが倒壊しました。カンボジア南部沿岸のケップ州で1月3日午後4時半ごろ、建設中の7階建てのホテルが倒壊しました。このビルも所有者は中国人です。

がれきの中から23人が救出され、59人が死傷(うち6人の子どもを含む36人が死亡)の大惨事。フン・セン首相は、犠牲者の遺族にはそれぞれ補償金として5万ドル(約540万円)、負傷者に対しては2万ドル(約216万円)が支払われると約束しています。

何か事故が起きると補償の話になり、直ぐに金額が提示されるのは、カンボジアならではの。カンボジア現場の普通作業者の日当は6ドル、熟練作業で10ドルですので、年収はおおよそ2千ドルと3千ドルです。

カンボジア国内では推計20万人の建設作業員が働いており、労働組合規則の保護下でない日雇いの非熟練労働者が大半を占めており、建設現場の安全基準の低さが事故発生リスクを高めているのです。

カンボジアでは、ビルや住宅建設現場ではノーヘルメットでサンダル履きに安全帯なしが目につきます。建設現場での安全意識がまだまだなのです。

(写真出典=The Phnom penh Post & K hmer)



倒壊した建設現場

会員 鈴木春男(カンボジア・シェムリアップ在住)

活動に参加しませんか

正会員として

●教育里親会員(年額3万円)

子どもたちへ直接払う年額

1万2千6百円(42%)

会の運営に回す年額

1万7千4百円(58%)

●個人会員(年額5千円)

●団体会員(年額1万円)

●寄付金

当会の活動に賛同いただける方からの寄付金も受付しております。

会費・寄付金の送付は、銀行振込、郵便振替、現金書留で。

【口座名】21世紀のカンボジアを支援する会

【ゆうちよ銀行】当座0160916

019支店

【りそな銀行】練馬支店 普通4098235

●ゆうちよ銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご連絡ください。

●会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。

会員懇親会(忘年会)を開催

12月14日、恒例になった「会員懇親会」(忘年会)を、昨年と同じ横浜中華街のレストランで開催、会員12人が集った。終了後、山下公園にある喫茶店で二次会を行い、しばし交流した。



参加者の皆さん

在日本カンボジア王国大使を表敬訪問

昨年11月5日、根岸理事長が在日本カンボジア王国大使館を訪れ、2018年9月に着任したオング・ラチャナー特命全権大使を表敬訪問した。

この訪問を機会に一層大使館と連携し、カンボジアへの支援・交流活動を活発に行うことを約束した。

また、4月11日に開催の「創立20周年記念祝賀会」に、ゲストとしてスピーチして下さることになった。



オング・ラチャナー大使と

第18回定期総会開催のご案内

本会では、下記の要領で第18回定期総会を開催いたします。会員(教育里親会員・団体会員・個人会員)の皆様には別途通知いたしますので、ご出席のほどよろしくお願い致します。

【開催日時】

2020年3月26日(木) 14時~16時

【会場】練馬区立「練馬文化センター」(3F会議室)

【審議事項】

- ・2019年度事業報告並びに決算報告
- ・2020年度事業計画並びに予算計画
- ・その他雑件

カンボジア・フェスティバル 2020

カンボジアについて日本の方々に広く知ってもらおうと、在日カンボジアコミュニティ、カンボジア大使館、在日カンボジア留学生協会などが共催します。本会も、カンボジア支援NGO団体として出展しますので、是非お出かけになってください。入場無料です。

【開催日時】

2020年5月3日(日)、4日(月) 10時~19時

【開催場所】東京・代々木公園(イベント広場)

【イベント】

物品販売、活動紹介、カンボジア料理などの模擬店、伝統舞踊など

※ボランティアとしてお手伝いして下さる方、歓迎します。事務局までご連絡ください。